

令和元年度 議会事務事業評価結果表（平成30年度決算分）

委員会名	建設経済常任委員会	委員長名	渡辺 征爾
事業名	交通安全対策事業		

評価	事業内容：要改善	予算規模：拡充
審査の経過	<p>本事業においては、警察、交通安全協会などと連携し、交通安全教室及び交通安全普及啓発活動が実施されている。</p> <p>平成30年の市内における人身事故発生件数は減少しているものの、交通事故は依然として後を絶たず、今年度は兵庫県から高齢者と自転車の交通安全対策重点推進地域の指定を受けている状況である。</p> <p>また、委員から、高齢ドライバーによる交通事故の増加、スマートフォンの「ながら運転」の常態化など、社会環境の変化による新たな交通課題に加え、従来からの中学生・高校生の自転車に関連する交通事故が多いといった課題が挙げられた。</p> <p>委員から、「現在、実施している交通安全教室は、子ども、高齢者、一般など幅広い年代を対象に行われており、これまでどおり普及啓発に努めてほしい」と事業内容「現行通り」・予算規模「現状維持」と評価する意見があったが、多数の委員は、事業内容「要改善」・予算規模「拡充」との評価であった。</p> <p>改善に向けた提案として、「他部局との協議、調整などの頻度を増やし、総合的な対策を実施すべき」「交通安全教室については、市民が集まる様々な場を利用し、幅広い世代に対し、さらに積極的に実施すべき」「中学生・高校生を対象にした自転車の交通安全教室を積極的に実施し、安全啓発の徹底を図るべき」「自転車ヘルメットの着用促進に向け、ヘルメット購入に対する補助を検討してはどうか」との意見があった。</p> <p>委員会は、多数決の結果、事業内容「要改善」・予算規模「拡充」の評価と決定した。</p>	